

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	京都教育大学	個人・グループ名	JORIEKO	作品名	棗
-----	--------	----------	---------	-----	---

製作の動機・目的

学校の木工室に木工用旋盤があり、それを利用して作品を作りたいと考えていました。手の中にすっぽりと納まるサイズの作品にも挑戦したかったので、棗をつくることにしました。

作業工程での工夫



木目を活かすために1本の木から、旋盤で削り出しました。
 旋盤で削りやすくするために、長方形から8角形に角をとるノコギリとノミの作業が小さく細かったので難しかったです。
 旋盤に固定する方法が難しく、ネジで固定できない形だったので、両面テープを利用しました。



旋盤で、削ったのでフタの内側の溝は少しカーブしているので、そのカーブに合わせて下を削るのが難しく、合わせながら削っていきました。
 置いたときに安定させるために、底の中心を少し削ってあります。
 両面テープで固定しているため、少しフタと身で円の位置が少しずれてしまいそうだったので、カンナで調整しました。



塗装前

塗装後（完成図）

食品を扱うものであるので、塗装には蜜蝋ワックスを使用してみました。木目がはっきりし、とても良い感じになりました。